

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	08 防災・防犯 ～災害に強く犯罪のないまち～		
	施 策	34 防犯 一防犯体制を強化し、犯罪のないまちづくりを目指しますー		
重点プロジェクト				
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主 管 課	総務部 危機管理防災課	評価責任者	半田 義直	
		評価日	令和7年6月2日	
関 連 課	広報広聴課、協働推進課、高齢福祉課、建築課、学校教育課			
目 標	犯罪のない安全で安心なまちづくりのために市民一人ひとりの防犯意識の向上を図る。また、関係機関と連携し、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図り、次世代に継承されていく体制を構築する。			
施策目標の実現 に向けた取組	(1) 防犯意識の普及・向上 ○高齢者を狙った振り込め詐欺被害など、犯罪情勢に応じた、迅速・的確な情報発信及び適時・適切な防犯啓発活動とともに各種対策を実施する。 ○不審者に対する児童への防犯教育を行い、防犯意識向上を図る。			
	(2) 防犯体制の整備・充実 ○自主防犯団体の拡充と次世代の防犯意識を高めることにより、防犯体制の強化を目指す。 ○関係機関・団体と連携し、児童の見守り強化と犯罪の温床となるおそれがある場所のパトロールを強化する。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	人口千人当たりの刑法犯認知件数※減少を目指す指標【総合戦略】							
		説明	1年間の刑法犯の事件数をその年の人口で割り、算出した件数。防犯意識を高め犯罪の発生を減少させる取組の成果を示す指標となるため。							
		単位	件							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	5.40	5.30	5.20	5.10	5.00	4.90	4.80	
		実績値	6.70							
	指標2	指標名	ふじみ野市防犯推進会議加盟団体数【総合戦略】							
		説明	自主防犯を行う団体数。防犯体制の整備・充実を示す指標となるため。							
		単位	団体							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	165	167	169	171	173	175	177	
		実績値	171							
	指標3	指標名								
		説明								
		単位								
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								
	指標4	指標名								
		説明								
		単位								
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	4,377	0	0	0	0	0	0
	人件費	18,824	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	257	0	0	0	0	0	0
	一般財源	22,944	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	【総合戦略】 振り込め詐欺被害 防止対策	増加する振り込め詐欺被害を減少させることを目的に、市民に対する手口の周知及び対策機器購入費の補助（対象：65歳以上の市民、補助額：購入金額の2分の1、上限5,000円）を実施した。	・市内協力店舗（11店舗） ・対策機器の購入費補助（139人） ・警察と連携した手口の周知 ・市役所本庁舎での対策機器の体験展示会及び犯罪情報の発信 これらの取組により市民の防犯意識の向上と被害の未然防止が図られた。	防犯推進事業
取組②	【総合戦略】 防犯講習会及び防 犯キャンペーンの 実施	市民の防犯意識の高いまちづくりを構築するため、各種防犯講習会や防犯キャンペーンなどの防犯啓発活動を実施した。	・各種講習会（6回、延べ198人） ・地域等に出向いた防犯講話（22回） ・校区内防犯会議（2回） ・防犯キャンペーン（11回） ・親子防犯教室（7回） 各種キャンペーン・講話等の取組により広く市民の防犯意識向上が図られた。	防犯推進事業
取組③	【総合戦略】 犯罪及び防犯情報 などの情報発信	警察と連携し、防犯メールや防災行政無線等を活用した周知の他、青パトによる市内巡回を実施するなど、犯罪及び防犯に関する情報発信を行なった。	・防犯メール発信（延べ60回、市内防犯メール登録者数10,497人※3月27日） ・防災行政無線放送（延べ94回） ・青パトによるパトロール（延べ236回、延べ5,379km） タイムリーな情報発信により、市民・地域への注意喚起と犯罪抑止が図られた。	防犯推進事業
取組④	【総合戦略】 ふじみ野市防犯推 進会議の登録団体 の拡充	自治組織やPTAなどが中心となる従来の組織に加え、市内の事業所に対して、加盟を呼びかけ、組織の拡充を図った。	・新規登録団体（6団体） 防犯活動団体の拡充により、令和6年度末170団体の登録。市内の防犯体制の強化が図られた。	防犯推進事業
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和6年の本市における刑法犯認知件数は、令和4年まで減少傾向が続いていたものの、前年比64件増の758件となった。中でも、街頭犯罪件数が前年比15件増加し、特に自転車盗の増加が顕著となっている。このことから、市民に向けた防犯情報の発信、自主防犯団体の拡充等による地域の防犯活動の活性化及び防犯講話、各種講習会等による防犯啓発活動の効果が一定程度認められるものの、自らの安全を自ら守るという市民一人ひとりの防犯意識の更なる向上に向け、引き続き自転車盗対策など、具体的な罪種に対する防犯啓発活動の強化を行う必要があると考えられる。 また、振り込め詐欺被害件数についても、前年比5件増加の37件となった。複雑巧妙化する特殊詐欺被害を減少させるため、高い効果が期待できる対策機器の普及や手口や対策の周知啓発に引き続き取り組むことが求められている。 安全で安心なまちづくりを推進するためには、タイムリーな情報発信による市民一人ひとりのより一層の防犯意識の向上と地域の自主的な防犯活動の充実が必要不可欠である。 そのため、地域・警察・行政の連携を密に、三位一体の防犯活動の強化を図るほか、振り込め詐欺等対策機器の普及啓発やふじみ野市防犯推進会議登録団体の拡充により、さらなる防犯体制の拡充を図っていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	